

## 杉戸町記者発表資料

平成30年2月2日（金）

○ 担当課名 商工観光課

○ 担当者職名 課長 伊坂 泰重

主査 平井 徹

○ 電話番号 0480-33-1111（内線 310）

17:30 以降 0480-33-1751

## 日本工業大学の学生とともに・・・ 『杉戸宿魅力発信拠点施設』建設作業を協働で行います。

杉戸町では、町を代表するイベント「古利根川流灯まつり」のメイン会場等、様々なシーンで活用されてきた「（仮称）第2流灯工房」を解体し、国の地方創生交付金を活用し、新たに「杉戸宿魅力発信拠点施設」の建設を進めています。

この新施設は、これまで町が展開してきた杉戸宿開宿400年プロジェクトの成果を踏まえ、木材をふんだんに使用し、蔵をイメージした特色あるデザインを採用しています。

整備後は、「古利根川流灯まつり」のメイン会場等のイベントスペースとしてだけでなく、更に、杉戸宿めぐりの休憩スペースや農商工物産市等での活用も想定しており、これにより、交流人口の増加につなげ、観光による経済効果の地域全体への波及効果も期待しております。

そこで、新施設の建築作業にあたり、町と包括的連携協定を締結している「日本工業大学」（宮代町学園台）の協力を得て、下記のとおり、建設作業の一部を学生と協働で行います。

### 記

#### ■施設概要

- 1、名称 杉戸宿魅力発信拠点施設
- 2、所在 杉戸町清地1丁目1番1
- 3、面積等 342.83㎡
- 4、構造 木造平屋建て
- 5、利用用途 ・古利根川流灯まつり等でのイベントスペース及び灯ろうの作成・保管  
・杉戸宿めぐり等での休憩スペース  
・農商工物産市会場 他
- 6、デザイン これまで町が展開してきた杉戸宿開宿400年プロジェクトの成果を踏まえ、木材をふんだんに使用し、蔵をイメージした特色あるデザインを採用。

#### ■作業概要

- 1、作業日時 2月6日（火）9時～15時  
※以後、作業日数5日間を予定しています。  
※天候により、作業中止の場合もあります。
- 2、作業場所 「杉戸宿魅力発信拠点施設」建設地  
（所在：杉戸町清地1丁目1番1）
- 3、作業内容 施設内部の木材（柱・梁等）塗り作業  
※宿場の古民家をイメージさせる黒色に内部の柱を着色します。
- 4、作業人数 日本工業大学 建築学科及び生活環境デザイン学科学生 のべ10名（予定）

#### ■その他

- 1、添付画像 **画像1** 「杉戸宿魅力発信拠点施設」完成イメージ図（1枚）  
「杉戸宿魅力発信拠点施設」作業状況（2枚）  
**画像2** 「（仮称）第2流灯工房」（建替え前）時の利用状況（4枚）
- 2、参考 **資料** 日本工業大学と杉戸町との包括的連携協定締結とその後の関わりについて
- 3、取材対応 取材を希望される報道各社の方につきましては、事前に記者発表問合せ先までご連絡ください。

画像 1

完成イメージ



作業状況 1



作業状況 2



画像 2



対岸より望む（仮称）第2 流灯工房



イベント活用で賑わう



流灯用枠組みの作業場としての活用



流灯用の絵を描く作業場としての活用

## 日本工業大学と杉戸町との 包括的連携協定締結とその後の関わりについて

### 1、「杉戸町と日本工業大学との包括的連携協定」締結

平成27年4月16日（木）、杉戸町及び日本工業大学が相互の密接な連携により、杉戸町の地域課題に迅速かつ適切に対応し、更なる魅力あふれる地域の創生を目指し、活力のある成長するまちづくりの発展に寄与することを目的とし、包括的連携に関する協定を締結しました。

包括協定を締結したことで、杉戸宿の魅力を活用した賑わいづくりのほか、健康、子育て、環境、教育をはじめ様々な分野で、人的・知的資源の交流・活用を図るものです。

### 2、協定以前の日本工業大学の協力事項

- ① 杉戸宿魅力再発見有識者委員会委員としての協力（波多野学長、菊地教授）
- ② 総合振興審議会委員や都市計画審議会委員など各種審議会委員としての協力
- ③ 町内の小・中学校へのITボランティアとしての学生派遣

### 3、連携事項及び具体的な取組み例

- ① 地域の創生に関する事 → 杉戸宿開宿400年プロジェクトへの参画
- ② 健康、子育て、環境、教育等に関する事 → 人的・知的資源の交流・活用
- ③ 人材の育成に関する事 → インターンシップの受け入れ

#### 【参考：平成28年度の関わり】

##### ■ 審議会等の外部会議

|        |   |
|--------|---|
| 会議等の名称 | 杉戸町総合振興審議会（杉戸町まち・ひと・しごと創生有識者会議）                     |
| 区分・人数  | 教授：1名   |
| 役割     | 事務事業に対する評価を行い、町長へ答申を実施した。                           |
| 会議等の名称 | 杉戸町環境審議会  |
| 区分・人数  | 教授：1名   |
| 役割     | 識見を有する者として、審議会委員を委嘱し意見を求めた。                         |
| 会議等の名称 | 杉戸宿開宿400年プロジェクト会議                                   |
| 区分・人数  | 教授：2名   |
| 役割     | プロジェクト会議 会長、委員としての参加                                |
| 会議等の名称 | アグリパークゆめすぎと地域情報・魅力発信強化事業<br>情報コンテンツ企画・編集委員会         |
| 区分・人数  | 教職員：1名  |
| 役割     | 日光街道杉戸宿等の地域資源を活用したまちなかの活性化に資する事業の推進に関し、専門的な観点からの助言。 |
| 会議等の名称 | 子ども大学すぎと実行委員会                                       |
| 区分・人数  | 副学長、教授、学生支援部長等：9名                                   |
| 役割     | 子ども大学すぎとの準備、開催及び運営等に係る実行員会委員をしていただいた。               |

##### ■ 町（教育委員会）主催・共催事業

|        |  |
|--------|--|
| 事業等の名称 | 出前教室（サイエンスショー）   |
| 区分・人数  | 教授：1名  |
| 役割     | 放課後児童クラブの児童にサイエンスショー（物理の実験）をしていただく。<br>※本来は、抽選によるものであるが、場所が近いため、大学に配慮していただき実施となった。 |
| 事業等の名称 | 第13回 杉戸アースデー   |
| 区分・人数  | 教授：1名、職員：1名、学生：5名  |
| 役割     | パネル展示を通じて、環境保全をPRした。   |

|        |  |
|--------|--|
| 事業等の名称 | 子ども大学すぎと   |
| 区分・人数  | 教授・講師：5名、大学職員：1名、学生：6名   |
| 役割     | 杉戸町と大学・企業・団体等が連携して、子どもの学ぶ力や生きる力を向上させる機会を提供する「子ども大学すぎと」講座の講師をしていただいた。 |
| 事業等の名称 | 姉妹都市バッセルトン訪問団との交流  |
| 区分・人数  | 教職員4名程度  |
| 役割     | 姉妹都市提携20周年記念式典来訪時に日本工業大学のEnglish roomと交流                             |
| 事業等の名称 | 杉戸宿開宿400年宿場まつり   |
| 区分・人数  | 教授：2名（来賓として）、日本工業大学 吹奏楽部   |
| 役割     | イベントへの参加   |

■ その他の連携

|        |  |
|--------|--|
| 事業等の名称 | インターンシップ実習生の受入れ  |
| 区分・人数  | 学生：2名  |
| 役割     | 大学生のキャリア形成に寄与する。また、将来、学生が就職先として杉戸町職員を志望して頂き、採用につなげることで、優秀な技術系職員の確保を図る。 |
| 事業等の名称 | ゲスト講義のお願い  |
| 区分・人数  | 教授：1名、学生：建築学科及び生活環境デザイン学科の2年生  |
| 役割     | 建築の仕事や公務員建築職について、町職員が講師になり授業の1コマを使って説明する。                              |
| 事業等の名称 | 高札場 復元事業   |
| 区分・人数  | 教授：1名、講師：1名、学生   |
| 役割     | 建築物への監修、設計、材木の加工、建方作業  |